

令和 6 年度 第 1 回大口町保育所運営委員会 会議録

開催日時	令和 6 年 6 月 1 8 日（火）午後 1 時 3 0 分より
開催場所	健康文化センター 1 階 多目的室
出席者名	議会議員代表 2 名 民生委員・児童委員代表 3 名 保護者代表 6 名 事務局 1 0 名
次 第	1 自己紹介 2 協議事項 （1）令和 6 年度保育所運営費の概要について（資料 No. 1） （2）令和 6 年度の保育所運営について ・園児数（資料 No. 2） ・年間計画（資料 No. 3－1～3－5） （3）各保育園の取り組みについて 保育園パンフレット（資料 No. 4－1～4－4） 3 その他

（進行：こども課長）

	1 自己紹介
--	--------

（進行：委員長）

事務局	2 協議事項 （1）令和 6 年度保育所運営費の概要について（資料 No. 1） 支出総額：7 億 9，9 1 1 万 4 千円 収入総額：1 億 6，2 6 5 万 6 千円 差引額=町負担分：6 億 3，6 4 5 万 8 千円 （支出について） ・報酬、給料、職員手当等、共済費、旅費は、職員に係る経費になる。
-----	--

	・需用費は、保育や給食用の消耗品費となる。今年度は、公立３園の３歳以上児用の食器の購入を予定している。 ・役務費の主なものとしては、保育士の確保を目的に、人材紹介会社を利用したの採用を予定しており、採用となった場合には、推定年収に紹介料を乗じた手数料を支払うために計上している。今年度、既に１名の採用を決定している。 ・委託料の主なものとしては、社会福祉法人、宝光福祉会が運営している大口中保育園に対し、人件費や運営に係る事業費、管理費を支払うための民間保育所運営費委託料、また、公立３園の農業体験事業をＮＰＯ登録団体と協働して行うための委託料等が計上されている。使用料及び賃借料は、昨年１０月に導入した、『保育園業務支援システム』利用のための月額利用料等が計上されている。 ・負担金補助金及び交付金の主なものとしては、大口中保育園の人件費に対し、委託料で賄いきれない部分を補助する民間保育所補助金等が計上されている。 (収入について) 主なものとしては、幼児教育無償化や大口中保育園に係る経費や工事費の補助など、国や県からの歳入が８，３４５万２千円、保護者の皆様にお支払いいただいている保育料が５，６１８万２千円、延長保育を利用される方が支払う延長保育料や年少児以上の方にお支払いいただく給食の副食代等が２，３０２万２千円となっている。 一人あたりの費用額は、令和６年４月１日現在の園児数を基に年間利用延べ人数を出し、支出総額を延べ人数で割ったものであるが、１人当たりの月額が１１万７，０３５円となり、そのうち町負担分が９万３，２７７円で全体の７９．７％を占めている。保護者の皆様にお支払いいただいている保育料等が８，１９２円で全体の７％となっている。
議会議員代表	保護者の方に質問だが、子どもさんは何名見えるのか？ 少子高齢化と言われている中で、保育園の利用者負担が８，０００円ということで、今後高齢化社会の中で子どもを増やしていかなければいけないという話が出てくるようになると思うが、今後増やされる予定があるのか尋ねたかった。
各園父母の会	保育園に通っている子どもは、１～２名。

保育長	(2) 令和6年度の保育所運営について 昨年度の保育所運営委員会の質問、意見の共有 (質問) 登校園の管理システムについて、導入計画、導入により予想される効果について ・昨年度10月よりアプリ運営を開始して、今年度はすでに利用している。運営も軌道に乗り、保護者からも保育士からも時間を効率に使えて、負担軽減につながっているという声が出ている。効果を得られている。 (質問) 親子通園の仕組みやサポートについて ・北保育園に親子通園「ぱんだ教室」が併設されている。保健センターの健診を経て、親子で通園していただいている。個々に合わせた療育を提供し、その後、幼稚園、保育園の就園につながっていく。 (質問) 父母の会活動「移動動物園」について ・「動物と触れ合って、豊かな心を育みたい」という意見をいただいた。様々なアレルギーを持ったお子様が増えて来ている中、保育活動や給食において、できる限りどのお子様も満足できるように進めていきたいと思っているので、難しさがある。ご理解ご協力をお願いしたい。 (質問) 公立保育園のバス遠足について ・令和6年度から年長児の秋の遠足は、バスを使わず年中や年少児と一緒に徒歩で出かける。 (報告) タイム技研様より、町内の4保育園に和太鼓の寄付をいただいた。保育園では年間を通じて和太鼓に親しんで、節目節目で披露している。今年度も園児たちが和太鼓を披露する姿をお楽しみいただけたらと思っている。 園児数の説明(資料No.2) 令和6年6月1日現在の園児数は、定員790名のところ、599名のお子様をお預かりしている。内訳として、南保育園101名で7クラス、西保育園195名で11クラス、北保育園162名で9クラス、大口中保育園141名で9クラスの運営をしている。今後、育児休業明けで仕事復帰をされる方など、途中入所のお子様を25名お預かりする予定になっており、合わせて、年度内624名の園児数になる予定である。転入や就労でお問い合わせいただいたお子様についても、毎月の入園審査会を経て、保育の必要性を認定し、入園案内をさせていただく。 職員数については、南保育園は27名、西保育園は46名、北保育園は40名、大口中保育園は35名で保育を行っている。園長、副園長、クラス担任保育士の他に、加配保育士、週休・休憩対応などの保育士、調理員、管理栄養士、
------------	---

	看護師、事務員も必要に応じて配置しており、大勢の専門職員で大切なお子様をお預かりしている。 年間計画の説明（資料No.3-1） 入園進級式でお配りした「ことしのあゆみ」に、主たる行事が載せてある。保護者の方に参加いただくものには○印がつけてある。5月下旬、全園児引き渡し訓練を緊急メールで行ったが、アプリでも行いたいと思っている。アプリの準備が整い次第、案内を差し上げるので、いざという時のために再度のご協力をお願いしたい。9月の年少児保育参観は、試食会も一緒に計画している。10月の運動会は、暑さを考慮して第2週土曜日開催とさせていただく。秋の遠足は公立保育園、3歳以上児、徒歩で出かける。2月に3歳以上児の保育参観を計画している。3歳未満児については、子どもの年齢が低いため時間や参観方法、内容について保育園での日常の姿をご覧いただくことに年々、難しさを感じるようになってきている。今年度の開催は見送らせていただく。 下段には、「毎日家庭で行える子育て3か条」が載せてある。これは学校用の子育て10か条をもとに、乳幼児を対象としたものを作りたいということから、平成27年度に保育士と幼稚園教諭で作成した。何かと忙しい毎日だが、家庭や保育園で心掛けていけたらいいと思う。右側には、園生活の一日の流れを載せさせていただいている。 各保育園別の年間計画（資料No.3-2から3-5） 保護者の方には4月末に配布した保育園別の年間計画である。予定を立てるときに利用してもらいたい。
私立保育園 法人代表 保育長	家庭教育を考える会は、どこの課ですか？ 生涯学習課になる。
南保育園 父母の会副会長	使用料及び賃借料において、保育園業務支援システムはどのくらいの割合か？
事務局	南保育園は、18,500円 西と北保育園は、22,000円 年間825,000円（税込み） 通信回線 年間128,000円

南保育園 園長	(3) 各保育園の取り組みについて 南保育園（資料 No. 4-1） 南保育園は、6月現在3歳未満児30名、3歳以上児71名、合計101名のお子様をお預かりしている。 子ども像を「豊かな心と丈夫なからだでよく遊ぶ子ども」と掲げ、また、年齢に合わせた保育目標を基に、大勢の友達と集団で過ごす中で互いに育ち合える場として、また、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、様々な体験を通して豊かな心を育む保育を目指している。 SDGSを意識した活動について、南保育園では、No.4「質の高い教育をみんなに」とNo.11「住み続けられるまちづくりを」No.17「パートナーシップで目標を達成しよう」の3つの目標に向かって取り組んでいる。継続して取り組んでおり、今年度は4年目になる。南地域には歴史的文化財などもあり、歴史民俗資料館の学芸員の方を招いて話を聞いたり、実際に現地に出かけたりする活動を行っている。また、自然豊かな園周辺の環境で、農道を散策し、自然にたくさん触れて、子どもたちの好奇心や興味が膨らむような取り組みを行っている。先日は田植えの様子を見学した。大きな田植え機であつという間に苗が植わる様子に歓声をあげていた子どもたち。引き続き、生長を見守っていきたいと思う。 地域交流については、地域の老人クラブの方との交流を行っている。保育園に来ていただいたり、一緒に散歩に出かけたりしながら交流を深めている。SDGsの取り組みを知っていただき、先日は、豊田地区の方々と堀尾跡公園で学芸員さんから裁断橋の話を聞き、一緒に散策を楽しんだ。今後は、秋田地区・大屋敷地区の老人会とも交流を計画している。 南食育サポートの方との食育交流事業については、南食育サポートの方にご指導をいただきながら、栽培活動を行っている。今は、夏野菜が食べ頃で、子どもたちが畑にでかけて収穫している。収穫できた野菜は、給食の食材に取り入れ「食べる喜び」「人や物への感謝」の気持ちを育てていきたいと考えている。 体力づくりについて、園庭には、雲梯、鉄棒、ブランコ、登り棒など、固定遊具がたくさんある。固定遊具で伸び伸び遊ぶ中で、年齢に応じた体と心の豊かさを育てていきたいと考えている。遊具を使って様々な動きを経験する中で、バランス感覚が養われ、挑戦する心が育っていく。「一人でできた」という達成感、充実感を味わい、自信に繋げている。 木育活動について、木に触れ、木で作り、木で遊ぶ「木育」を通して、子どもたちの心と体を育んでいる。園庭には桜、イチョウ、藤などの木があり、四
--------------------	--

	季折々の姿を間近で見ることができる。散歩で見つけた木の実・枝など自然物を使って製作をし、年中児では親子で箸づくりを経験する。 今後も、保育園と地域と家庭の連携を大切にして、一緒に子育てできる保育園づくりをめざしていく。
南保育園 父母の会会長	南保育園 父母の会の取り組み 6月 バザー開催（済） お楽しみ会（年2回の予定） 保育園の夏祭りに出店予定 クリスマス・進級卒園プレゼントの準備 フォトレコにて写真販売 オイスカ森の積み木広場（エコキャップとアルミ缶回収） 読み聞かせボランティア「ともちゃんズ」
西保育園 園長	西保育園（資料 No. 4－2） 西保育園は、現在3歳未満児68名、3歳以上児132名、合計200名のお子様をお預かりしている。新年度が始まり、1か月程は新しいクラスや担任に慣れず、前年度の年齢のような様子の子どもたちだったが、1か月も経つと「自分は年長組！」とか「ひとつ大きくなった」ということを子どもたちなりに意識し、その年齢にあった顔つきや行動、様子に変わってきて、子どもたちの成長を感じながら過ごしている。 SDGsを意識した保育活動では、今年度も引き続き、No.12「つくる責任つかう責任」を目標に掲げ、食に対する感謝の気持ちを育み、給食の残食を減らすことを目指して子どもたちと取り組んでいる。 年長児の「給食Gs」放送は、はじめは緊張したり恥ずかしがったりしていた。最近は畑で野菜が収穫できるようになり、給食室に野菜を持って行ったり、調理員の先生と給食に入る野菜についてやりとりをしたりするようになり、意欲的言えるようになってきている。年長児は生ごみが堆肥となることを調理員の先生から教えてもらうなどして「食の循環」についても学び始めている。今年度の残食ゼロの日は、まだ1回で、「ごはん サバの味噌煮 千草合え」の和食献立だった。 異年齢児交流では、「人との関わり方を学ぶこと、社会性や協調性、思いやりの気持ちを育むこと」をねらいとして取り組んでいる。普段の生活や遊びの場面で交流したり、保育計画を立てて交流したりしている。年長児がお世話係として年少児と交流しているが、トイレに行きたがらない子、昼寝の寝起きが悪い子なども年長児が迎えに来てくれると、素直に切り替えること

西保育園 父母の会会長	ができ、お兄さんお姉さんの力はとても大きいと感じている。 食育では、今年から中地域自治組織の方とボランティアの方が新しく食育サポートとして畑の野菜作りや管理などをしてくださっている。今年度も一緒に野菜を栽培し、収穫し、給食で味わうなどいろいろな体験をしていきたいと思っている。 木育では、木や自然物に触れたり関わったりして遊ぶことで、「自然や人の命を大切にする心を育む」ことをねらいとしている。年中親子で「マイ箸作り」を行い、他年児は、散歩に出かけたり自然物を使って遊んだりする中で、香り、感触、音、暖かみなど五感を使い、子どもたちが感じることに共感していきたいと思う。 体力作りでは、子どもたちの体力増進を図るため、毎日戸外で体を動かして遊ぶようにしている。芝生園庭や園庭の山では、走ったり跳んだりして思いっきり体を動かし、回廊や室内では体操したり運動用具を使って遊び、体幹を鍛えたり柔軟な体を作り、心身のたくましさを養っている。 郷土を愛する心を育む活動では、自分の町を知ること、「大口町に関心や愛着を持つ」ことをねらいとし、余野地区にある「山姥物語」や「白山ふれあいの森古墳群」について歴史民俗資料館の学芸員より話を聞いたり、現地に行ったりする。先日も山姥について話を聞き、徳林寺へ出かけた。山姥の屏風絵を見せていただき、感じたことや疑問に思ったことなどを口々に発しており、子どもたちなりの受け止め方を大切にしていきたいと感じた。 地域交流では、新旧の食育サポートの方を行事などにお招きし、園児との交流を通して子どもたちが地域の方を知り、親しみや感謝の気持ちを持てるようにしていきたいと思っている。 今後も地域の方の手をお借りしながら、地域、保育園、家庭が一緒になり、共に子育てをしていきたいと思っている。 西保育園 父母の会の取り組み 年4回のイベント 無料のイベント 有料のイベント ダッシュマン 保育園の夏祭りに父母の会のブース 父母の会主催「命の大切さ」を伝えるイベント。 自分のこと、友達のことを思いやる気持ちを育む 写真撮影（年間13回） フォトレコの写真販売間（3回から4回） オイスカ森の積み木広場（エコキャップとアルミ缶回収）
------------------------	---

北保育園 園長	プレゼント（年４回） 北保育園（資料 No. ４－３） 北保育園は６月現在、３歳未満児５３名、３歳以上児１０９名、合計１６２名のお子様をお預かりしている。 木造で、木の香りや温かみ、感触や通気性の良さを活かした、四季の変化を感じる園舎となっている。その中で、子どもたちはのびのびと開放的な気分を味わいながら過ごしている。 SDGを意識した保育活動は、取り組んで３年が過ぎた。日常の保育の中で「園舎を大切にする」気持ちをもって、回廊の外階段を子どもたちと一緒にきれいに磨き、紙やすりを掛けてなおしていく活動を続けている。現在は、年長児が水を使って外階段のブラシかけをしている。その様子を見た年中児も一緒にブラシを持つ姿が見られる。ビオトープの水が流れる横でブラシかけを行っているので、気持ちがよく、年少児や未満児も回廊を歩きながら楽しそうに見ている。 木育では、親子マイ箸づくりを行っている。保護者の方も木に触れ、親子で一緒に取り組んでいる。木曜日を『もくもくの日』として、木に関する絵本の読み聞かせや、自然物を使った遊びのコーナーを楽しんでいる。昨年度より、地域の方にも参加していただき、『第３木曜日は地域の方と一緒にもくもくの日』を行っている。今年度も７月から始めるように準備している。気軽に保育園に足を運んでいただける関係づくりをしていきたいと思っている。 食育では、食育サポートの方と一緒に、畑で野菜を育て、収穫し給食に取り入れている。夏野菜の収穫が始まった。年長児が交替で給食ゴーゴーとして、園内放送で、給食に入っている野菜を紹介している。それを聞いた年中・年少児が自分の皿に入っている野菜を探して食べる姿が見られる。「育てる」「収穫する」「食べる」という農と食の体験を通して、子どもたちの豊かな心と生きる力につながるよう取り組んでいる。 今後も子どもたちと地域、保護者、保育園がつながり、一緒になって子どもを育てていく「子どもを真ん中においたまちづくり」を目指していきたいと思う。
北保育園 父母の会副会長	北保育園 父母の会の取り組み いちご畑の管理（ネット張り、ネット外し、苗の株分け、草取り） オイスカ森の積み木広場（エコキャップとアルミ缶回収・贈呈） ハロードナルド（交通安全教室）７月 忍者体操（体操）８月

大口中保育園 園長	風船太郎 2月 写真撮影 フォトレコの写真販売（2ヶ月ごと） プレゼント（運動会、クリスマス会、卒園と終了時）全園児対象 宝光福祉会大口中保育園 （資料No.4－4） 保育形態として、「遊びの中からの学び」を保育の柱として、一人ひとりの主体性を大切にする保育を行っている。左下にコーナー遊び、「遊びのミュージアム」の紹介とあるが、子ども達が主体的に生活でき、自分からやりたいことを見つけ、意欲的に取り組むことができるように保育室や園庭に色々なコーナーを設置し、自分で活動を選べるように工夫している。 保育園の主な年間行事について、運動会や発表会、保育参観などの保護者の方にも参加してもらうイベントから、子どもたちに伝統や季節の移り変わりを伝える行事まで、今年度は異年齢で関りながら一緒に楽しめる取り組みを計画した。下の写真は未満児の散歩の様子。 大口中保育園の周囲には、五条川遊歩道、小口城址公園・多世代が集う憩いの広場など、近くに自然が豊富にある。園では主に、午前中の晴れた日には、0歳児から全園児積極的に散歩に出かけたり、戸外遊びを楽しんだりしており、自然に触れる機会を出来るだけ多く取り入れた活動を心がけている。 大口中保育園の一番の特色は、体力作りである。発達に合わせて、毎朝のサーキット遊びや体育専門の講師による運動遊びを取り入れ、健康な身体作りと体を動かす楽しさを味わう。「やってみたい」「できるようになりたい」と思えるように導き、「できた」という達成感・満足感を自信へと繋げていく。運動は苦手だな…と感じる事がないような取り組みや言葉掛けに配慮し、誰でも楽しく参加できるようにしている。可動式の遊具を取り入れ、戸外はもちろん、室内でも数台の鉄棒・平均台・跳び箱などを組み合わせ、様々な運動遊びを楽しんでいる。手にはがんばりまめをいっぱい作りながら自分なりの目標を持ち挑戦している園児も多い。 食育活動について、食べることは生きることの基本である。まずは「楽しく食べること」が大切だと考えている。季節の食材に触れること、料理を作る人と関わることなどを通して、食への関心を高める活動も行う。園庭の隅に設置してあるプランターで夏野菜のピーマン・インゲン・ナスなどを育て、収穫を楽しんでいる。畑では6月にさつま芋の苗植えをし、10月の収穫を楽しみに水やりや草取りなどの世話を行っていく。 さまざまな活動を通して、地域の方々と交流を行っている。ふれあいの場を設けることで、支えあう地域づくりを学び、思いやりの気持ちを育んでいる。
----------------------	---

	食育の一環として、和菓子作りを行っている。和菓子作りを通して、日本の文化に触れ、和菓子の形や材料などにも興味を持つことができるきっかけになればと計画した。 行事があった日は、ホットニュースとして降園時に保護者向けに写真で紹介している。ホームページは、月 1 回更新しているので、見ていただきたい。 その他の事業として、一時預かり保育を行っている。今年度は、6 月までの 3 カ月間で延べ 3 1 1 人のお子様のご利用があった。理由は、保護者の方のリフレッシュが一番多く、他に就労や就活、通院する為などがある。 課外活動として、昨年度から遊戯室を使用し年中児から小学 1 年生までダンス教室、今年度から毎週火曜日に体操教室を行っている。こどもたちが様々な事を経験して自信へと繋がり、わくわくする気持ちやチャレンジしたいという気持ちを大切に見守りながら、一緒に心地良い時間を過ごしていきたいと思う。
大口中保育園 父母の会会長	宝光福祉会大口中保育園 父母の会の取り組み 写真撮影販売 園内バザーの用品回収中（9 月） ダッシュマン メリオット体操に応募 パン教室を検討中
南保育園 父母の会会長 大口中保育園 園長 南保育園 父母の会会長 大口中保育園 父母の会会長	大口中保育園の父母の会費は、公立保育園の会費と同じか？ 月 2 5 0 円となっている。 写真販売は何を使っているか？ しまうまプリント。
保育長	4 その他 保育の必要性の認定のために利用を必要とする理由で、就労という条件があるが、令和 6 年度までは月に 7 5 時間以上の就労をお願いしていたが、令和 7 年度 4 月からは 6 4 時間に変更になる。

大口中保育園 父母の会会長	移動動物園は行わない方が良いのか？
保育長	動物アレルギーのお子様や環境でアレルギーを持っているお子様が増えてきている現状。給食についてもみんなが食べられる献立を立てたり、アレルギーフリーのものを取り入れたりしている。みんなが同じようなものという視点から考えると、少し難しさもある。みんなが同じでなくても、動物が好きな子に対して行うという視点もある。非常に難しいところがあるので、園長と相談しながら決めていくということになる。
議会議員代表	せっかくの機会なので、感想、意見などお願いしたい。
南保育園 父母の会会長	今回の案内を5日にいただいたが、もう少し早くいただけないか。副会長はすでに仕事が決まっていたので、出席できなかった。
保育長	早めの案内を心がける。
議会議員代表	感想を1人ずつお願いしたい。
西保育園 父母の会会長	南保育園と北保育園の会長とは顔合わせをしたことがあるが、大口中保育園は顔合わせをしたことがないので始めましてだった。
長谷川副委員長	顔合わせる機会は無いか？
保育長	あえて設定はしていない。
長谷川副委員長	設定してほしい。
主任児童委員	十数年前に、自分が父母の会をしていた時は、顔合わせはなかった。違う場面でも交流ができると良い。皆さん仲良くされている様子を見ていいなと思った。
西保育園 父母の会副会長	父母の会費が大口中保育園と50円違うのはなぜか？
保育長	公立保育園は同じ金額に決めている。大口中保育園は民間の保育園になるので、大口中保育園に任せているところがある。大口中保育園独自の設定である。

北保育園 父母の会副会長	公立保育園でも全てを共有し合っているわけではないので、大口中保育園の話も聞けて良かったと思った。
大口中保育園 父母の会会長	謝恩会の予定はどうなっているか？
南西北保育園 父母の会会長	南保育園 父母の会としては行わない 西保育園 父母の会としては行わない 北保育園 話は出ていない
大口中保育園 父母の会副会長	一保護者としていろいろ考えて日ごろの保育を運営していただいていることを実感して、感謝している。ありがとうございます。1年間で子どもたちが楽しんでいける行事を考えていきたい。園の行事の中に入れるタイミングで、園長先生と相談しながら考えていきたい。話を聞いて、交通安全教室はいいと思ったので計画していきたい。写真の販売のフォトレコはどんなものか？
南保育園 父母の会会長	サイトでパスワードを入れて、見て注文する。
こども課長	閉会の挨拶